



臭気分析のご案内



ここ数年、食の安全を脅かす事件が多発し、消費者の食に対する関心が強まるにつれ、食品製造メーカーに対する監視の目が厳しくなって商品に対するクレームや相談が増加しています。

その中でも商品に混入した異物や商品の異臭などのクレームが多く、弊社への相談の頻度も多いことから、臭気分析の受託を開始致しましたのでぜひご利用下さい。

検査ご利用例

1. 異臭クレームのあった商品の臭気原因成分の絞り込みが可能です。
クレーム商品と正常品の臭気を比較して、明らかに違いのあるピークを解析し成分を特定。
 2. 保存により商品に移行した臭気成分の絞り込みが可能です。
保存時の包装材や隣接した物質からの臭気成分の移行を、正常品と比較・確認。
 3. 経過時間による香り成分の変化の確認ができます。
製造直後と時間経過した商品の香り成分を比較することで、経時変化を確認。
 4. 品質管理を目的として、商品に含有される香り・臭気成分の特定を行います。
商品からの揮発性成分を採取し、どのような成分が含まれるかを確認。
(ロットによりバラつきがありますので、少なくとも2検体以上での検査をお奨めします。)
- その他、腐敗による臭気など、臭気の原因となるさまざまな成分を特定します。



検査概要

検査項目	臭気分析 クレーム品 及び 正常品 (比較品)	臭気分析 追加検体
検査料金 (税別)	60,000円	20,000円
検査方法	ヘッドスペース・GC/MS法による定性検査	
所要日数	2週間	
必要検体量	100g程度 (検体が少量の場合はご相談下さい。)	
検体搬送	各検体を別々の袋に入れ密閉した状態で、冷蔵・冷凍でご送付下さい。新聞紙などインク臭の強いものは検体へ移るおそれがあるため、緩衝材には使用しないで下さい。	
備考 ・ 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・分析対象検体は食品のみとなります。(容器・包剤については、別途ご相談下さい。) ・臭気分析ではクレーム品と正常品での比較検査ですので、必ず正常品が必要です。 ・複数検体で分析される場合、追加料金で対応できるのは同種類の検体に限りです。 ・品質管理目的での香り・臭気成分を確認される場合、2検体で60,000円となります。 ・臭気分析では揮発性物質の同定を行います。検出された成分の定量値はご報告しておりません。 ・臭気が感じられても、GC/MSで定性できる感度に足りない、検出されたピークがライブラリーにヒットしない、妨害ピークで判定できない場合などには、成分を同定することができません。 ・成分が同定された場合でも、その成分が原因物質であるとの断定には至りませんのでご了承下さい。 	

結果ご報告内容

1. GC/MSで得られたクロマトグラムを添付しますので、ピークパターンを比較・ご確認頂けます。
2. GC/MSのライブラリー機能により、ピークの検出位置や分子量から同定を行います。
3. 同定された成分の一般的な用途等の情報を参考資料として添付します。

お問合せ先

株式会社セントラル医学検査研究所 総合衛生事業部

〒310-0804 茨城県水戸市白梅2丁目9-13

TEL 029-225-8858 FAX 029-225-8874

ホームページ <http://www.central-icl.com> E-mail: eisei@central-icl.com

